

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	音楽と社会 (Music and Society)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	スクリーンの中の作曲家とその作品		
担当者名 (Instructor)	星野 宏美(HOSHINO HIROMI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

西洋クラシック音楽の作曲家を取り扱った映画を糸口として、当該作曲家の生涯と作品に親しみ、音楽史の流れをも辿る。

This course will use significant films dealing with Western classical music composers to acquaint students with the life and works of the composers and understand the transition of music history.

授業の内容(Course Contents)

講義と鑑賞。映画自体の特徴(芸術・娯楽映画、ドキュメンタリー等)を踏まえつつ、当該作曲家がどのように描かれているか、どのような作品がどのように用いられているのかを考察する。作曲家の生涯と作品の概観を鑑賞前に行う他、映画をいくつかの場面に区切り、掘り下げた解説を加える。映画の中では、作曲家は「(英雄伝や悲劇の)主人公」としての性格が強調されているが、学術的な音楽史書においても、また当時および現代の実社会においても、作曲家像は実は史実と逸話が交錯したところに形成されているのだという事実を再確認したい。

Through lecture and appreciation, students will consider the characteristics of the films (arts or entertainment films, documentaries, etc.) and discuss how the composer is depicted and which music works are used and how.

授業計画(Course Schedule)

1. 導入
2. 「アンナ・マグダレーナ・バッハの日記」(1967年ドイツ・イタリア)
3. 古楽運動とバッハ像の変遷
4. 「アマデウス」(1984年アメリカ)
5. モーツァルトとサリエリ:天才と凡才
6. 「クラシック音楽＝古典音楽」における伝統と革新
7. 「不滅の恋」(1995年アメリカ)
8. 運命に立ち向かう孤高の天才像
9. 「愛の調べ」(1947年アメリカ)
10. シューマン夫妻の愛と葛藤、女性と音楽
11. 音楽家とは?:作曲家 and/or 演奏家
12. 「マーラー」(1974イギリス)
13. 世紀末ウィーン文化とユダヤ人問題
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

図書館所蔵の音楽事典類、音楽書、AVコーナーのCDやDVDを活用するとともに、積極的に生演奏に触れてほしい。授業中に随時、紹介する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

毎回のリアクションペーパー(小テストないし小レポート)提出、それらを合算(100%)

テキスト(Textbooks)

特になし。

参考文献(Readings)

授業中に紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

時間厳守。私語厳禁。質問や指摘、討論はもちろん歓迎する。

